

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 出雲かんべの里
 指定管理者 特定非営利活動法人八雲総合サービス協会
 担当課 生涯学習課
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

1. 総合評価

市	S	【優れていると評価した点】 ○施設の維持管理については、仕様書に基づき適切に実施された。 ○本施設の設置の趣旨を踏まえ、工芸文化の維持・伝承、民話の普及に努めた。 ○上質な自主事業を行い、施設への誘客を図ることにより本施設のPRと市民文化レベルの向上に寄与した。 ○一部イベントの参加者数の減少が認められるが、施設の利用者は平成22年度以降、増加を続けている。 【評価できない、または改善すべき点】 ○周辺の文化・観光施設との連携によりさらなる施設利用者の拡大を図ること。
---	---	---

指定管理者	S	【優れていると評価した点】 ○年4回の季節のイベントに加え自主事業にも大いに取り組むことで、施設の利用促進を図った。 ○来館者は、全体では前年比101.7%で58,433人(自主事業を含む)であった。施設別の来館者数では、工芸館が100.4%、民話館が108%であった。 ○民話館では、世界の昔話シリーズを行うなど、趣向を変えた取組みを行った。 ○ものづくり学校・かんべ茶屋・すずめの市等をはじめ、「自然の森」再生活動にも継続して取り組んだ。あわせて、旧暦の行事他自然体験・地域諸団体との交流活動を通して施設の有効活用・利用促進に努めた。 ○地域住民の方々と協働して、地域の魅力づくりにも大いに寄与した。 【評価できない、または改善すべき点】 ○建物、内部機器はいたみが激しく、修繕箇所も年々増加している。故障してから修繕、更新するのではなく、年度計画を策定して、市と協議していく必要があると思われる。 ○工芸館の在り方についても、引き続き松江市と協議していく必要がある。設置目的を再度確認していく、よりよい施設運営を図るべきと思われる。
-------	---	--

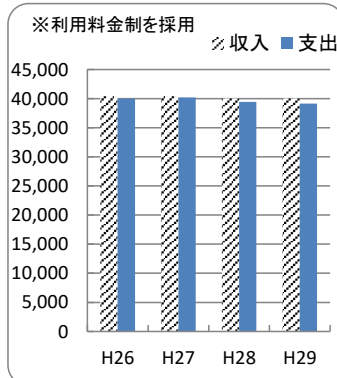
2. 施設利用の増減について

総括	○利用者数は全体で、対前年度比101.8%と微増した。 [民話館前年度比108.0%、工芸館前年度比100.7%] ○利用料収入は全体で、対前年度148.1%と増加した。 [民話館前年度比111.8%、工芸館前年度比202.3%] 工芸館については、かんべ茶屋をはじめとする実習棟利用に加え、研修室の会議利用が増加したことによる。 ○平成30年2月の大雪により閉館日数が増加したため、工房利用者の減少が発生した。 ○経営状況としては、安定的な経営により黒字が確保されている。また多くの自主事業に積極的に取り組むことにより施設の魅力を高め、利用者数の増加を図っている。
----	--

(1) 収支状況の推移（自主事業を除く）

(千円)

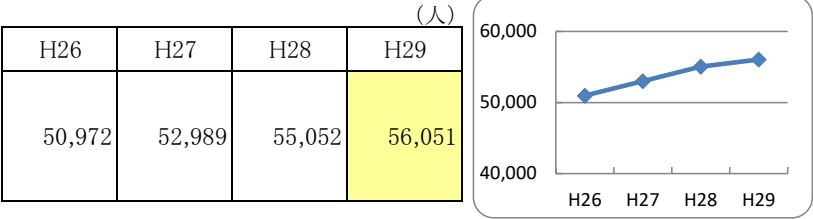
項目\年度	H26	H27	H28	H29
施設の収入	40,420	40,401	40,041	40,046
うち指定管理料	40,194	40,194	39,772	39,648
うち利用料	226	207	269	398
施設の支出	39,979	40,190	39,433	39,149
差引	441	211	608	897
上記以外の市の収入、支出				
市の収入(使用料)	0	0	0	0
市の支出	59	0	395	7,888
うち市の修繕費	0	0	0	7,834



指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 出雲かんべの里
指定管理者 特定非営利活動法人八雲総合サービス協会
担当課 生涯学習課
指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

(2) 利用者の推移



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準値に対する 達成度 C/A
アウトプット	①施設の利用者数(人)	49,337	50,000	56,051	112.1%	113.6%
	②モニタリングにおける顧客満足度(%)	70	70	95	135.1%	135.1%
	③工芸作家、民話館「とんとし昔のお話会」との連携によるものづくり体験教室や民話の伝承	実施	実施	実施	-	-
	④新緑まつり(5月実施)(人)	2,500	4,000	4,059	101.5%	162.4%
	⑤夏まつり(7月実施)(人)	2,500	4,000	2,440	61.0%	97.6%
アウトカム	モニタリング調査における下記質問項目の肯定的割合(%) ・出雲地方の歴史や文化について関心が高まった。 。学習の成果を活用したいと思う。 ・生涯にわたって学習したいと思う意欲がある。	70	70	73		
				達成度 平均	102.4%	127.2%

達成度 に対する 意見	指定管理者	市
	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 ○年4回の季節のイベントに加え自主事業にも大いに取り組むことで、施設の利用促進を図った。またものづくり学校・かんべ茶屋・すずめの市等をはじめ、「自然の森」再生活動にも継続して取り組んだ。あわせて、旧暦の行事他自然体験活動を通して施設のPRを行った。 ○地域住民の方々と協働して、運営することができた。 ○今後は、新たな施設の魅力づくりに取り組んでいく必要がある。	【達成度の原因・分析】 ○一部イベントで目標不達成となっているが、その他の魅力ある自主事業やイベントを行うことで継続的に利用者数の確保に努めている。 ○また、上質な自主事業を行うことによる施設利用者の満足度についても目標を大きく上回っている。

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 出雲かんべの里
 指定管理者 特定非営利活動法人八雲総合サービス協会
 担当課 生涯学習課
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
69	①満足している (94.6%) ②満足していない (2.2%)	①良い ・また家族と一緒にいきたいです。 ・楽しかったし、おもしろかった。 ②苦情 ・なし ③要望 ・子供用椅子とベビーチェアを設置してほしい。

(4)住民サービス向上の事例

○各種イベント時における民話館入館料の無料化

3. 自主事業

総括	○島根県の助成金を活用し、森づくり事業を実施するなど、施設の趣旨を踏まえ自主事業に積極的に取り組んでいる。 ○食事処かんべ茶屋及び昨年度に引き続き行う「中医学と薬膳教室」は好評を得ており年間延べ約8,000名が利用している。 ○季節のイベント等では施設利用者だけではなく、周辺住民とも協力して事業を実施するなど地域の活性化にもつながっている。
実施状況	○かんべ茶屋、年2回のかんべの里全体イベント、丘のクラフト展(工芸展)、語りのタベ、旧暦の行事、新そばまつり、すずめの市、森のプレーパーク、森の学校、漢方と薬膳教室、森のデッキづくり等、水辺の観察会

4. 特記事項

○特になし

5. 今年度の目標・課題

○利用者数の目標を50,000人とする。
 ○モニタリングによる顧客満足度を70%以上とする。
 ○工房の在り方検討を行う。